

七ヶ浜町の現況

1. 自然・歴史等

(1) 位置と地勢

本町は、宮城県の中心部仙台市の東側に位置し、周囲27.8kmで、南は太平洋、西は塩竈市、多賀城市、仙台市と接し、三方が海に面した方形に近い半島状の町である。

面積は、13.19km²(平成26年10月国土地理院修正)で県内最小の町(北海道・東北においても最小)であるが、東に遠く金華山の霊峰を望み、北東には日本三景「松島」の景勝を誇る四大観の一つに数えられる多聞山がある。

(2) 気 候

大部分の地域が海に望み海洋性気候のため、仙台市と比較し夏は2～3度涼しく、冬は暖かい。また、降水(雪)量が少なく、大変住みやすい気候となっている。



北緯38度16分45秒
東経141度2分20秒

姉妹都市：プリマス町
(アメリカ・
マサチューセッツ州)

友好の町：山形県朝日町

(3) 土地利用

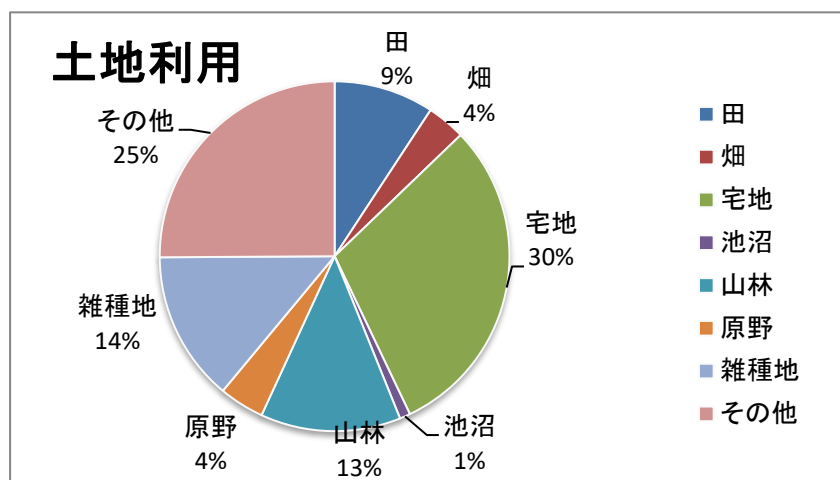
令和6年の地目別割合をみると、30%が宅地利用されている。また、その他が25%となっており、主に学校用地や道路として利用されている。

地目別面積の推移

(単位:ha)

年	総面積	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他
平成17年	1,327	125	81	392	13	192	42	179	303
平成18年	1,327	125	80	391	13	191	42	182	303
平成19年	1,327	125	80	392	12	191	42	182	303
平成20年	1,327	125	80	392	12	191	42	181	303
平成21年	1,327	125	80	394	13	189	42	181	303
平成22年	1,327	124	80	395	13	189	42	181	303
平成23年	1,327	124	80	392	13	187	42	181	308
平成24年	1,327	124	80	395	13	189	42	181	303
平成25年	1,327	124	80	395	13	189	42	181	303
平成26年	1,327	124	80	396	13	187	41	181	305
平成27年	1,319	124	76	399	13	183	41	185	298
平成28年	1,319	124	76	410	13	175	39	180	302
平成29年	1,319	122	76	410	13	172	39	184	303
平成30年	1,319	122	75	403	13	172	39	184	311
令和元年	1,319	124	74	397	13	172	39	183	317
令和2年	1,319	124	66	402	13	171	45	175	323
令和3年	1,319	124	65	400	13	170	46	177	324
令和4年	1,319	123	65	401	13	170	46	176	325
令和5年	1,319	123	65	400	13	170	46	177	325
令和6年	1,319	122	47	397	13	171	55	183	331

税務課「概要調書」第2表 各年1月1日



※令和6年分数値をグラフ化

(4)文化財・史跡

町内には50の貝塚・遺跡が所在し、縄文時代と奈良・平安時代に属するものが多い。特に大木囲貝塚は松島湾を代表する縄文時代の大規模な集落跡で、昭和43年に国史跡に指定されている。指定面積は約19.7万㎡の広さを誇る。

平安時代に名神大社の一つに数えられていたという鼻節神社は、陸奥国府多賀城の食材供給などを担う「厨」が使用したと考えられる青銅製の古印「国府厨印」が発見されたところである。また、平安時代後半～鎌倉時代初期に彫られたとされる湊浜薬師堂の磨崖仏(薬師座像)は、慈覚大師が病氣治癒や海上の安全を祈願するために一晩で彫りあげたという言い伝えがある。

■町の主要な指定文化財

種 別	名 称	指 定	指 定 年 月 日
史 跡	大木囲貝塚	国	昭和43年3月18日
史 跡	湊浜薬師堂及び薬師座像並びにカヤの木	町	昭和56年10月1日
史 跡	鼻節神社	町	平成2年4月1日
天然記念物	下がり松	町	平成2年4月1日
歴史資料	国府厨印	町	昭和46年
有形民俗	「鰐鮫頭骨収納箱」 附鰐鮫頭骨及び釣針	町	平成10年8月1日
無形民俗	吉田浜獅子舞	町	昭和60年3月1日
古 碑	建治三年銘古碑	町	平成2年4月1日

■町の主要な指定文化財位置図

